

# 全鉄連情報

平成20年7月18日刊

〔第65号〕

目次

P 1 経済産業省より要望

P 1～2 加盟団体報告

P 2 鉄鋼連連絡会報告

P 2 常任理事会報告

P 2～4 鉄流懇報告

P 4 企業消息

P 4 会員入退会

P 5 業況アンケート結果

全国鉄鋼販売業連合会広報委員会主管

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10鉄鋼会館6F ☎03-3808-2350 FAX03-3808-2358

## 鉄鋼流通における品質管理の徹底について 経済産業省からの要請

経済産業省製造産業局鉄鋼課・石川正樹課長より全鉄連会長宛に要請文が届いています。このところのメーカーにおける品質管理上の問題が多発していることから流通に対しても注意を喚起する意味で発せられたものです。内容は以下のとおりですので、会員のみなさまにおかれては品質管理について、一層の注意を払ってくださるようお願いいたします。

### 記

近時、鉄鋼メーカーにおいて、JIS認証の取消に至ったものを含め、品質管理に関する問題が、多数発生しております。その結果、鋼材の品質に対するユーザー業界や国民一般の信頼が損なわれていることは誠に遺憾であり、経済産業省は（社）日本鉄鋼連盟に対し、品質管理体制の強化に全力で取り組むよう要請しているところ

です。鉄鋼流通業界におかれては、従来から品質管理の徹底コンプライアンスの遵守等に取り組んでこられていますが、上記の事情に鑑み、ユーザー業界等の信頼を維持する観点からも、改めて万全の対応を行って頂くことが必要であります。このため、貴団体傘下の各企業に対し、検査証明書の管理を含めた品質管理、コンプライアンスの遵守に関し万全を期すよう御指導方お願いいたします。

## セーフティネット保証

指定延長、7月1日から3カ月間

経済産業省・中小企業庁は、中小企業のセーフティネット保証制度の特定業種について、鉄鋼シャー・スリット業、建設用金属製品製造業（鉄骨製造業）鉄鋼卸売業などを7月1日から9月30日まで3カ月間、指定延長した。昨年11月に改正建築基準法の影響で建築需要が減退し、建築関連の中小企業の業況が悪化したことからセーフティネット保証制度を拡大、鉄鋼卸売業などを追加した。現状、建築市場が再び後退局面に入りつつあり、業界での与信管理も重要性を増していることから、鋼材流通などでの金融措置が必要と判断、延長が決まった。建築関連の中小企業に対しては、セーフティネット保証のほか、特別相談窓口も設置されている。昨年10月から本年6月20日までの間に、相談件数が1万7048件、融資・保証の承諾額は2898億6500万円であった。直近の6月16日から21日の4日間の相談件数は460件で、年度末の3月24日から28日の4日間では1141件で、それよりは減少しているが、中小企業の景況感悪化がこれによっても現れている。

## 加盟団体報告

（平成20年6月1日  
～6月31日）

## 安値受注の回避、品質管理の徹底

### △北海道鋼友会（今井國雄会長）

5月29日（木）本年度最初の担当者部会を札幌市内「札幌アステンホテル」で開催した。全道各地の営業担当者が参集し、意見や情報交換を活発に行った。今井会長は「市況変動には驚いている。経験にないゾーンに突入している。今年に入ってもスクラップ高騰に伴い電炉製品の値上がりが顕著である。道内景況は、経済指標によると平成13年11月以来、6年半ぶりに弱含み推移へ下方修正。全国最低の水準で生産活動が伸び悩み個人消費も冷え込んでいる。有効求人倍率の悪化や地方の建材・金物店を含め建設業関連の倒産が悪化するなど厳しい環境が続いている」との認識を述べ「やはり、丁寧に慎重な商売を進めていく必要がある。安値受注を回避し刻々と変わる状況をに沿った対応を心掛け、与信管理を徹底して自社を守り、在庫対応に気を配り、品質管理を含めた信用信頼を得ていくことが肝要である」と挨拶していた。この後、道内の景況説明のほか、地区別概要報告やフリートークキングを繰り広げた。

### 肌で感じたベトナム鉄鋼事情

### △新潟県鉄鋼販売業連合会（今井幹文会長）

5月10日（土）～14日（水）の行程でベトナム鉄鋼事情視察研修を実施した。14名が参加し、現地の丸棒・薄板加工工場などを訪問した。視察先は「ピナキョウウエイスチール」「SMCスチール」の丸棒加工・薄板切断工場、冷延ミルの「PHU MY FLAT STEEL」など。一行はこの研修で日系鉄鋼企業をはじめとする取り組み努力やベトナム人の気質が日本人と似ていること、労働力の質が高い点などに感心していた。その一方で、市場経済への移行過程において価格統制が残る特異性や足元が揺らぐ米国経済との密接な関係から経済成長が減速気味にある現状についても肌で感じ取っていた。

### 厳しい夏になると警鐘を鳴らす

### △東北鉄鋼販売業連合会（齋藤芳郎会長）

6月13日（金）平成20年度第1回例会を開催。冒頭の挨拶で齋藤会長は「荷動き悪化を強く感じる。価格を上げきれないが、原料事情でメーカーは値上げしなければならず、流通にとって厳しい夏になる。与信問題や先行きの需要減退の不安が高まっているなか、販売数量が少なくなれば安値売りが危惧される。マーケットは我々の共有財産であることを改めて申し上げたい」と不安要因山積のなか、慎重な販売姿勢が重要であることを述べていた。また、当日は講演会も併催され、首藤照雄・住友商事東北社長が「企業メンタルヘルスとリスクマネジメント」と題する講演を行った。

## 想定外の値上げに困惑

△千葉県鉄友会 (椎名俊治会長)

6月13日(金)千葉市内「プラザ菜の花」で平成20年度定時総会を開催した。19年度の事業・会計報告を承認した後、懇談会に移り出席者がそれぞれ見解を述べた。「年初からのとてつもない値上げに困惑している。本日は屈託のない意見を述べてほしい」と椎名会長が話の口火を切った。懇談会ではつぎのような話が聞かれた。「5月は想像を絶するぐらいの悪さだった。地元の鉄工所も冴えない」「すべての企業で設備投資を控えようとする動きがある」「値上げはあるが、在庫は減らしていきたい」「価格が上昇したので売上は過去最高になった」など地区や自社の状況を述べていた。

## 講師例会に20名が出席

△川口鉄鋼会 (鈴木康之会長)

6月14日(土)15日(日)の1泊2日で同会の講師例会が開催された。会場は水上温泉の川口市保養施設「マグノリア山荘」である。講演は「売上債権保証サービスについて」と題し、イー・ギャランティー㈱の担当者2名が講師を務めた。売掛金に対しての保険をかけることで与信リスクを軽減するというものである。与信不安が顕在化するなか、出席した会員は熱心に聴講し、質問していた。当日の出席者は20名だった。

## 関連会議報告

### 鉄鋼課連絡会

6月25日(木)

会場 鉄鋼会館2F会議室

出席 松淵・芳澤(経済省)林・木下(愛知)西村・山岸・佐藤(東京)阪上(大阪)齋藤(東北)今井(新潟)南(石川)井上(神奈川)

\*会議に先立ち新常任理事として南昭武氏(石川・金太)山岸邦幸氏(東鉄連・東邦シャリング)佐藤元政氏(東鉄連・佐藤鉄鋼)以上3氏の紹介があった。

●全鉄連調べによる3地区12品種18サイズの平均市況は126,400円前月比+3,700円、前年同月比+38,900円。鉄鋼課より国土交通省が設置した「工事請負契約書第25条第5項(単品スライド条項)の相談窓口の設置などについて」とする資料の説明があった。

## 常任理事会

●6月6日開催された富山総会について、出席者は会員123名、メーカー・商社32名、業界紙5名、同伴者10名事務局2名、計172名との報告などが事務局よりあり、これを了承した。

●鉄鋼営業中堅社員研修講座(本年度で5回目)を11月21日(金)浦安鉄鋼会館で実施することになった。

●全鉄連の新会員名簿を発刊し、合わせて賛助広告を募ることになり、広告掲載依頼書を発送したとの報告があった。

●流通4団体ホームページにバナー広告を募ることになった。

●平成21年度総会は来年6月5日(金)岐阜市で開催

することになった。ホスト団体は岐阜県鋼材販売協同組合である。

## 第401回鉄流懇概要

### 景況感悪化、信用不安募る

●東鉄連からの概況報告(山岸・佐藤)

△鉄筋…スクラップが依然として高い。ほとんど商売ができていない状態である。メーカーからの供給は少ないが需要も少ないので、需給は保たれている。信用不安もある。

△平鋼…悪くなっているという感覚である。今回の値上げをそのままスライドして上げることが難しく感じられる。スクラップ輸出を規制してもらわないと電炉はますます困窮するだろう。

△形鋼概況…5月は前月比で在庫微増、在庫減少、在庫増加。4月より5月、5月より6月と、悪くなっている気がする。仮需の反動は6月に入っても続いている。

△H形鋼…商社在庫が相当減少し、物件をメーカーに繋いでいたのをつなげず、自社在庫で対応している。メーカー引受は前月の半分というところもあり、厳しい。

△一般形鋼…供給は相変わらず厳しい。チャンネルの引受ゼロという話も聞いている。

△C形鋼…販売がおもわしくなかったため、在庫が増加した。需要減が供給減を勝る展開となっている。

△コラム…相変わらずタイト。建築需要が減っている。

△薄板概況…仮需というより需要がない。自動車、建機の輸出向けはいいが、建材が非常に悪い。在庫にタイト感があるが、需要がないので精彩を欠く展開である。

△冷延…仮需一服で在庫タイト。先行き不安である。大きな意味での構造変化を感じている。厚いサイズが入って来ない。

△表面処理…5月の期待は空振りだった。小口対応に終始している。需要関連では限られた業界のみが動いているだけで、空調、サッシは良くない。与信については必要以上の注意を払っていく。

△厚板耳付き、切板母材…5月部会調査では販売減少、在庫増加だった。5月連休明けから仕事がない。輸入材の入着は少ない。ポスコ、CSCからはほとんど入って来ない。韓国の岸壁にある滞留材が入荷してくる。需要は産業機械、建設機械の北米向けが落ちている。鉸山関係の大型シャベル、ダンプはいい。すべての建機メーカーで好調というわけではない。部分的な陰りが見えている。

△中板・ホットコイル…5月連休明けから閑散としていたが、6月になって店売りが多少良くなっている。原料値上げが暫定的なので、再値上げがありそう。

△縞板…仮需の反動からか、4月以降、新規の物件、切板の動きが落ち込み、売上げ減である。なんとか転嫁はできているが、先行き不安である。

△鋼管概況…5月販売は前年比-5%であった。シームレス需要は世界的に高水準である。熔協は売れ行きが落ちている。

△高炉品…シームレスの動きは良くないが、利益は期待できる。ただ、国内はユーザー向けが多いので与信不安が心配である。ガス管は白と黒では状況を異にしている。高炉ガス管は玉自体入って来ない。

△熔協…STKは5月以降、全く動いていない。需要は前年比ではいいように見えるが、前年が非常に悪かったので、その分を割り引いて見ておかねばならない。4～6月より7～9月に物件が出てくると言われているが、具体的な話は聞こえて来ない。

## 中小建築落ち込み、製造業にも陰り

### ●OSAからの概況報告(阪上)

6月に入っても引き合い、成約は低調。前年比では10%ぐらいの減少であろう。市場は先行手配により、鉄筋は加工業者に、形鋼は末端流通に、積みました在庫が滞留している。その消化には時間が掛かりそうだ。前回のような値上げに伴う仮需はたいしてなさそう。メーカー出荷増加の感触はない。だが、在庫は微増で推移すると思う。中小建設向けは誰が見ても減少しているというだろう。大型案件はあると言われているが、ゼネコンは価格変動で折り合いがつかなくなっている。肌感覚として製造業も少し落ちてきているではないか。2極化現象がさらに拡大している。悪い方がさらに悪くなって拡大している。

## 荷動き大幅に落ち込み、タイト感払拭

### ●愛鉄連からの概況報告(木下)

5月販売は15.6%の大幅減少。6月に入っても回復の兆しは見えない。今後、厳しくなるという見方が大勢を占めている。店によっては20%近く落ちているというところもある。需要回復は期待薄。在庫調整の必要もありそうだ。5月に品薄で苦勞したチャンネル、酸洗も急にタイト感がなくなっている。メーカーには流通在庫の状況をよく把握してほしい。在庫益を受けている状況がまだ続いている一方で、信用不安が増大している。

## 中小建設業者の倒産頻発

### ●東北からの概況報告(齋藤)

宮城・岩手内陸地震についてはお見舞いをいただき感謝している。揺れのわりには仙台では被害が少なかった商売の方は4月、5月と月を追って悪くなっている。中小建設業者の倒産が頻発している。公共案件の入札もばちばち出てきた。一向に減らない在庫に苦慮している。

## 先々の玉確保を憂慮

### ●神奈川からの概況報告(井上)

先物物件は成約に至っていない。倉出しはホームセンターのほうがいいくらいだ。中板は動かず、厚板の逼迫感は持続している。重電、小型建設機械、橋梁は横ばいで、問題はその材料確保である。Mグレード中心に5月から耐震工事が入っている。耐震化は神奈川県がトップである。シヤ業者のなかでも2極化が進んでいる。価格転嫁が思うようにいかない。

## 大型案件はあるが、地元に恩恵なし

### ●新潟からの概況報告(今井)

全体としてかなり需要が落ち込んでいる。7月からのメーカー値上げにはかなり抵抗感が出ている。新潟市、長岡市では駅の周辺再開発、柏崎原発の工事などが始められているが、地場ゼネコンにはほとんどお呼びがかからず、地元には恩恵がない。

## 続発する大型倒産

### ●石川からの概況報告(南)

北陸は小さな経済圏である。スーパー・準スーパーゼネコンの活躍でそれなりに需要はあるが、このところ大きな倒産が相次いでいる。小松市では自動車関連の仕事や5年後の新幹線開通に関連して駅周辺の再開発などもある。

## 上がった値段は下がらないとの状況認識で

### ●林会長(総括)

全国の報告でもあったが、業況アンケートの品別別需給状況を3月からみると在庫が増えて需給が緩んできており、これは先行き不振ということに尽きる。利益では販売店収益動向DIを2月から見ると4年ぶりの高収益となっているものの、信用不安の問題もあり、先々厳しい見方をするとところがほとんどである。今後、少しずつ落ち込みが予想されるが、5月はある程度恵まれた状況にあったといえる。先進国から資源国への所得移転という趨勢のなか、海外から調達する原料が高騰し、国内での収益確保が厳しくなるのはやむを得ないことである。また、原料に関しては、先般開催した全鉄連総会後の講演でJFEホールディングス(株)数土社長が指摘されたように「上がった値段は下がらない」という環境認識に立ち、我々鉄鋼流通としては、材料高騰の状況を楽観視することは許されないが、不要なものを買わず、安売りをやめ、在庫調整をしながら、自分の範囲内でできることをやるべきである。

\*この後、商社・メーカーから発言があった。なお、発言内容については別紙資料3-1、3-2を参照。

## 品質管理には万全の注意を

### ●経済産業省(石川課長)

本日の話にもありましたように製造業の需要が好調であり、今月末に発表を予定する鋼材の需要見通しでは、自動車などでは引き続き高い需要が見込まれているが、建築は慎重な見方が必要であると考えている。即ち改正建築基準法の影響が徐々に薄らいできたと思われるが、3～4月の建築着工統計をみると、市場自体が弱含みになってきている様子が窺え、慎重に需要を見極めていく必要があると考える。鉄鋼メーカーの品質管理問題については、鉄連を通じた調査により対象企業90社中10社で問題が判明した。このうち3社はJISの取消が行われ、極めて深刻な事態となっている。流通業界においては昨年来ミルシートの問題を含めた品質管理の面では十分に注意を喚起していただいているが、今回の件で周囲の目は非常に厳しくなっている。ミルシートなどを含めた品質管理においては、流通関係の団体の方々にも、今まで以上に十分注意を払っていただくようお願いしたい。

## 適所、適時、適量で対処

### ●小野会長

石川課長からもお話があったように、品質管理の問題では重大な事態を招いていることで、鉄鋼メーカーとしてお詫び申し上げる次第である。日本製鋼材の優位性たる所以は高い品質と信頼性にあると思っている。こうした信頼性を傷つけてしまい、一から出直す覚悟で皆様の信頼を回復できるよう取り組んでいきたい。

また、14日に発生した宮城・岩手内陸地震では、幸いにも鉄連並びに全鉄連加盟各社で大きな被害はなかつ

たと聞いているが、なかには関係先で被災されているところや、親戚・知人が被災された方がいるかもしれない被災された方々には心からお見舞い申し上げるとともに一刻も早い復興を祈念する。

本日お伺いしたお話で、足元の荷動きが良くないこと販売が低調不振であることがわかる。全市中調査の5月をみても、H形鋼、棒鋼、鋼管では前年比、前月比ともマイナスになっている。一方で5月の粗鋼生産1055万トン、4月の普通鋼鋼材受注をみると建築向けは減少しているが全体では487万7千トンとなったおり、内需は製造業を中心に堅調に推移しているマクロ感がみられるように2極化現象が非常に鮮明になってきている。係る需要動向に加えて、鋼材がこれまでと同じような形で流通加工というプロセスを経ていくあり方が変化していくと思われる。こうした環境の変化に対応した流通、加工のあり方について流通の方々と共に考え、ビジネスモデルを革新していかねばならないと考えている。また、関連する経済指標をみると、芳しくないものも出てきているこうした状況下、当社の例を挙げれば、不要なものを作らず、必要なところに、必要なタイミングで、必要な数量を供給する「適所、適時、適量」という取り組みを積極的に行っていきたい。とりわけ需給が逼迫している一部の品種については生産能率を上げ、より増産ができるよう努力を続けていく所存である。先行き不透明感が強まっているが、個別の需要分野、需要家の動向、各国経済の動向を冷静に見極めながら、きめ細かい販売生産姿勢をとっていきたい。

会員企業消息（平成20年6月1日～6月30日）

〔所在地・代表者変更など〕

- 三栄金属(株) (OSA)～新代表者に和田康一郎氏が就任した。
- 横浜鋼業(株) (OSA)～新代表者に伊藤誠基が就任した。
- イゲタサンライズパイプ(株) (OSA)～新代表者に永福隆氏が就任した。
- 桑原鋼業(株) (OSA)～新代表者に桑原正尚氏が就任した。
- 興亜産業(株) (東鉄連・京橋)～新代表者に竹中周三氏が就任した。

会員入退会（平成20年6月1日～6月30日）

〔入会〕

\*該当事項なし

〔退会〕

\*該当事項なし

(了)

発表者	鋼管	薄板	厚板	棒鋼・形鋼
発表項目 1. 需給動向 (景況感)	鋼管 メタルワン 大手紐付き向けは堅調。店売りの出荷数量は低調。母材コイルの供給タイプな状況が続く見通しの中、一部品種に引き締め感がある。シームスは国内向け供給が絞られており、今後タイプ感が増す見込み。	薄板 住友商事 4月末の薄板三品在庫は404.5万トと前月比2.9万ト増加。高炉各社のコイルは自動車向けを中心に好調で、店売向けは大幅な供給削減を行なっているが、8月までに値上げ前の返需がかなり発生しており4月以降急な荷動きが悪くなっている。7月以降の追加値上げが発表されたが、返需はほとんど見られず、天井感が漂い始めている。	厚板 阪和興業 造船好調継続。建機は小型機種に盛りが見られるものの全体としては好調推移。一方建築需要は低調で市中荷動きは閑散。但し在庫は依然低水準。	棒鋼・形鋼 メタルワン <棒鋼>原料コストが依然強含み推移する中、メーカーは強気の姿勢を崩しておらず、相場の上昇基調に変化はない。 <形鋼>春先の返需の反動で、荷動き停滞。特に中小物件向け引き合いが減少。相場も徐々に落ち着きを取り戻しつつある。
2. 需要産業動向	自動車・建産機・造船分野向けの紐付きは堅調。建設分野の大型案件は堅調であるが、中・小案件は法改正前と比し減少しているのではないかと思われる。	4月の自動車生産は91.8万台(前年同月比+5.4%)と輸出(同+20.5%)を中心に好調を維持。4月の新築住宅着工戸数は、9.8万戸(前年同月比+8.7%)と10ヶ月連続で減少。非住宅も、事務所を除き再びマイナスに転じ前年同月比+17.2%となった。	4月末造船手持工事量は6,623万GTとなり、3ヶ月連続で過去最高を更新。建設機械の4月出荷金額は、2,058億円で前年同月比67ヶ月連続の増加。	主力の建築向けでは、首都圏の再開発等の大型案件は堅調であるが、鋼材価格の急騰から中小物件については延期や中止が増加。今後は、流通ユーザーとの与信問題の表面化が懸念される。
3. 輸出入動向	4月度の鋼管輸出は前月より減少。特に溶接管は大幅減となった。輸入は低レベルとなっている。	4月の薄板三品入着量は249千ト(品種別では熱延+21千ト、冷延+18千ト、亜鉛付+4千ト)と前月比+0.7%(+4千ト)であった。韓国からの入着が+18千ト(+10.3%)と大幅に減少。	4月の厚中板輸入通関は、32,508トで前月比25,000トの大幅増。内韓国からは21,800トで前月比19,100ト増。岸壁在庫は15千ト(前月比+2千ト)	<棒鋼>半製品及び棒鋼は国内需要の落ち込みから、輸出へのシフトが顕著。特に、細物・中心に米国、韓国向け輸出が増加しつつある。 <形鋼>輸出については、夏季減産に備え、在庫を積み増したい国内メーカーの意向と国際的な価格競争力の低下から低水準。輸入は5/6月に中国よりH形鋼が相当量入着したが、ユーザーを想定した一時的なもので7月以降は激減する見込。
4. 海外市場動向	油井管・ラインパイプ商談は引き続き活況であり、大径パイプ鋼管及びシームス鋼管は世界的にタイプ感が続いている。	世界的に成長減速感が強まる中、国際商品市況の高騰を主因に世界的なインフレ懸念が今後高まって来っており、先進国では、アジア・パシフィックへの警戒感が高まっている。鋼材市況は、在庫が低水準にあることから引締まっておき、まだ先高感が残っている。四川大地震の復興需要が今後の中国鉄鋼業界にどのような影響を与えるか注意が必要。	国際的にも造船用母材をはじめ需給逼迫続き、市況も続伸す。	<棒鋼>韓国/中国及び中近東地区の棒鋼需要は根強く、値段は高位安定。特に半製品は、原料調達への不安感から、引合強く価格も急騰。 <形鋼> 中国からの輸出価格の上昇が緩やかになっているため、全般的にも一服感がでてきている。 7月以降一時的に需要が減退している地域もあるが、中長期的には、建材分野での需要は堅調に推移してゆくものと思われる。
5. トピックス	品質管理問題により、取り扱い流通筋は混乱をきたしており、問題解決の道筋が見えてくるには時間を要する見込み。			

鉄鋼流通問題懇談会 メーカー発言 (2008年6月)

発表者	電炉	高炉
発表項目	合同製鐵	神戸製鋼所
1. 需給動向 (景況感)	<p>○ 建築着工統計による4月の建築着工床面積、住宅着工戸数は10ヶ月連続の減少となり、4月のマンション着工戸数は全国21,000千戸(前年比▼11%)、そのうち首都圏は10,000戸(前年比▼25%)と減少。</p>	<p>・ 日本経済は企業部門で弱さが見られる等足踏み状態が鮮明となっている。 6月16日に内閣府が発表した月例経済報告によると… 「回復は足踏み状態にあるが、基調判断：「回復はこのところ足踏み状態」と3ヶ月ぶりに下方修正。 このところ一部に弱い動きが見られる」と3ヶ月ぶりに下方修正。 「横這いの範囲内」との見解が示されているものの、原油高騰等原材料価格の上昇によるマイナスイメージが懸念される。 ・ 国内鉄鋼需要を見ると、建設向では一部大型プロジェクト物件を除き未だ不安定な動きを見せているものの、製造業は概ね堅調に推移している。</p>
2. 需要産業動向	<p>○ 2~4月のマンション発売引契約率も首都圏は63%、近畿圏61%と、昨年以降70%割れが続いており、需要のピークアウトが鮮明となっている。 ○ こうしたマンション販売の失速により首都圏の売れ残りマンションは1万戸超に膨れており、中小デベロッパーでは建設計画の延期や中止、取得用地の売却する物件も出ており在来型のマンション建設に急ブレーキがかかっている。</p>	<p>建築…4月度住宅着工戸数 ⇒ 分譲マンション低迷の影響等により前年同期比 ▲8.7%減の9.8万戸と10ヶ月連続のマイナスイメージになっている。 ⇒ 事務所用を除く全ての用途でいずれも2桁減で前年同期比 ▲17.2%減となり、3月の増加から再び減少に転じている。 製造業…自動車の国内販売で弱い動きが見られるものの、造船・電気機械等好調さを継続しており、概ね堅調に推移している。</p>
3. 輸出入動向	<p>○ ビレットの輸出数量は3月が前年同月比+190%の176千トン、4月が同比+208%の145千トン ○ 鉄棒棒鋼輸出数量は3月が78千トン、4月が69千トン。(前年同月比+202%)</p>	<p>普通鋼鋼材輸入…4月度、厚板で7ヶ月ぶりに+22.5%増・熱延で6ヶ月ぶりに+3.8%増となった以外は全ての品種で減少しており、全体でも前年同期比 ▲3.7%減の32万トンと7ヶ月連続の減少となった。 輸出…4月の全鉄鋼輸出が前年同期比+8.6%増の309万トンで5ヶ月連続の増加となった。</p>
4. 海外市場動向	<p>○ 引き続き、東南アジアを中心に建材への引き合いは多く、価格も原材料高、フレート高等を背景に急騰中である。特に、台湾、韓国、米国の鉄筋市況は原料、鉄屑価格の高騰によって10万円を越えてきており引き続き強含みで推移している。</p>	<p>米国での景気後退に伴う影響が各地に波及する事が懸念されるものの、各国でのインフレ懸念の高まりや原材料高騰等を反映して鋼材市況は続伸している。</p>
5. トピックス	<p>○ スクラップ価格 東京製鐵のスクラップ購入価格(公表値)は岡山工場(陸上) 65.0千円/トン、宇都宮工場 67.5千円/トン。</p>	<p>4月度全国粗鋼生産…1,013万トン。4月単月としての過去最高を記録。 4月度全鉄鋼輸出 …309万トン。</p>

6月24日締切で、当会役員168名に対し、このアンケートを行ったところ、112名(66.7%)から回答があり、その結果(太枠内)が下記の通りまとまりましたのでご報告いたします。  
 \*DI算出方法=(A×2+B×1-D×1-E×2)÷回答数×100

仮需の反動が数量大幅減へ

【問1】貴社の5月(先月)の総売上金は、前年同月比で如何でしたか。

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	売上 前年比	A	B	C	D	E	計	5月 DI
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI		10%以上増	5%以上増	ほぼ横ばい	5%以上減	10%以上減		
▲17	▲16	2	▲33	▲57	▲56	▲54	▲74	▲22	36	34	34	数量	12(11%)	12(11%)	34(30%)	22(20%)	32(28%)	112	▲45
8	15	19	▲6	▲47	▲24	▲38	▲53	4	4	110	110	金額	39(35%)	21(19%)	29(26%)	11(10%)	11(10%)	111	+59

需要減退傾向止まらず

【問2】貴社営業窓口から見て5月(今月)の販売量は前月比如何ですか。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	販売量 前月比	A	B	C	D	E	計	6月 DI
DI		かなり増加	やや増加	ほぼ横ばい	やや減少	かなり減少													
▲34	▲39	▲53	▲58	▲59	▲65	▲66	▲82	▲59	▲34	▲87	▲89	公共建設向		4	36	27	22	89	▲75
▲7	▲3	▲39	▲31	▲64	▲85	▲81	▲84	▲47	▲18	▲67	▲82	民間建設向	1	9	37	32	19	98	▲60
▲12	▲9	▲15	▲12	▲14	▲11	▲11	▲15	2	2	▲24	▲40	自動車向		4	33	15	2	54	▲28
▲6	▲10	▲36	▲14	▲32	▲39	▲44	▲47	▲8	1	▲41	▲59	その他需要家向		9	38	32	10	89	▲48
▲52	▲21	▲35	▲34	▲45	▲43	▲58	▲52	1	3	▲53	▲69	仲間取引		8	31	38	4	81	▲47
▲20	▲14	▲41	▲32	▲46	▲53	▲56	▲61	▲25	▲11	▲58	▲71	計	1	34	175	144	57	411	▲54

高水準の収益を維持しつつ先々に不安感

【問3】貴社の5月(先月)の企業収益状況は、如何ですか。

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	企業 収益状況	A	B	C	D	E	計	5月 DI
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI		黒字	赤字	収支トントン	赤字	赤字		
57	78	79	52	52	59	71	16	38	116	142	143		54(58%)	39(35%)	13(12%)	2(2%)	2(2%)	110	128

先行き需要、不透明感強まる

【問4】貴社における向う3ヶ月間の需要動向についての予測は如何ですか

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	需要動向 予測	A	B	C	D	E	計	6月 DI
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI		増加	微増	ほぼ横ばい	微減	減少		
52	56	52	36	▲4	▲36	▲59	▲29	18	2	▲32	▲30		1(1%)	28(25%)	42(37%)	21(19%)	20(18%)	112	▲28

供給減だが、需要減退で逼迫感多少弱まる

【問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	需要状況 見方	A	B	C	D	E	計	6月 DI
DI		非常に不足	やや不足感	ほぼ需給均衡	やや過剰気味	非常に過剰													
15	27	45	34	21	±0	▲10	2	13	41	40	44	鉄筋用丸鋼	1	15	37	7		60	17
2	±0	7	6	±0	▲2	▲10	▲6	10	19	15	26	構造用丸鋼		9	42	3		54	11
▲11	▲7	2	±0	▲5	▲14	▲11	▲9	11	31	43	22	平角鋼		11	47	2		60	15
▲22	▲2	16	19	▲8	▲29	▲35	▲3	37	86	97	93	H形鋼	5	28	27	3		63	56
▲18	▲11	▲2	▲4	▲27	▲31	▲44	▲27	▲4	59	93	95	コラム	11	25	14			50	91
▲17	▲18	▲16	▲3	▲13	▲24	▲14	▲15	12	45	40	30	小形山形鋼	1	14	49	2		66	21
▲18	▲19	▲20	▲7	▲10	▲24	▲14	▲13	13	49	48	34	中形山形鋼		16	46	5		67	16
▲21	▲18	▲17	±0	▲8	▲19	▲13	▲10	20	79	78	61	溝形鋼	3	26	35	1		65	48
▲17	▲20	▲18	▲19	▲23	▲31	▲33	▲25	▲15	8	12	2	軽量形鋼C形	1	6	41	10		58	▲3
▲15	▲6	▲5	▲11	▲16	▲18	▲24	▲12	▲14	13	16	5	軽量形鋼広幅		4	35	3		42	2
▲22	▲22	▲24	▲22	▲24	▲27	▲30	12	45	91	69	73	冷延薄板	5	18	28	3		54	46
▲10	▲28	▲26	▲18	▲13	▲19	▲23	12	48	87	75	52	熱延薄板	1	23	34	5		63	32
▲13	▲14	▲13	▲16	▲24	▲24	▲25	±0	36	82	67	57	表面処理鋼板	2	12	29	1		44	34
▲17	▲42	▲45	▲30	▲24	▲24	▲28	39	100	135	98	65	酸洗鋼板	2	19	31	4		56	34
▲6	▲26	▲35	▲17	▲6	▲18	▲13	11	69	92	78	48	中板	4	28	33	5		70	44
12	15	20	48	29	38	47	63	90	105	122	102	厚板	10	40	16	1		67	88
15	29	38	63	50	64	66	83	100	118	120	113	極厚板	11	30	10			51	102
▲5	▲5	▲7	▲6	▲6	▲14	▲4	▲4	5	42	49	20	縞板	1	12	44			57	25
▲16	▲15	▲16	▲16	▲23	▲22	▲29	▲17	▲9	22	26	13	中径角		11	42	5		58	10
▲9	2	▲9	▲9	▲18	▲16	▲18	▲14	▲7	24	28	13	ガス管・黒	1	9	46	4		60	12
▲12	▲2	▲10	▲9	▲19	▲18	▲23	▲17	▲6	23	25	15	構造用鋼管		4	46	3		53	2
▲10	▲9	▲7	▲1	▲8	▲14	▲14	2	26	61	60	47	計	59	360	732	67		1218	34